

# 日本プロテオーム学会 2013 年会 (JHUPO 第 11 回大会)

( 第 12 回ヒトプロテオーム機構(HUPO)国際会議と同時開催)

## 理事会 議事録

日 時 : 2013 年 9 月 14 日 (土) 12 : 00~13 : 20

会 場 : パシフィコ横浜 3 階 317 (横浜市西区みなとみらい 1-1-1)

URL : <http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

出席者 : (会長) 山本 格、(副会長) 朝長 毅、(庶務担当理事) 石濱 泰、  
赤間 邦子、荒木 令江、磯邊 俊明、大石 正道、加藤 智啓、木下 英司、  
小寺 義男、小林 章一、榊原 陽一、坂口 和靖、高橋 信弘、谷口 直之、  
戸田 年総、中村 和行、成松 久、平野 久、山田 哲司、横田 博之  
(計 21 名、敬称略 50 音順)

欠席者 : 近藤 格、高尾 敏文、中山 敬一、野村 文夫、服部 成介、三ツ井 敏明、  
和田 芳直 (計 7 名、敬称略 50 音順)

### 1. 報告事項

1) 会員数 : 石濱庶務担当理事より報告があった。

2013 年 8 月末現在

種別	会員数
個人会員	一般 : 614 名 (新規入会 89 名、退会 8 名) 学生 : 113 名 (新規入会 49 名、退会 44 名)
法人会員	6 社 (昨年度 6 社)
合計	733 件

2) HUPO 活動報告 : 山本先生より報告があった。

3) HUPO 2013 (第 12 回 HUPO 世界大会) の開催 : 平野先生より現状の報告があった。

4) JHUPO10 周年記念プロテオミクス辞典 : 平野先生から以下の報告があった。

⇒JHUPO 設立 10 周年を記念し、辞典を講談社から出版。HUPO2013 に参加された JHUPO 会員の皆様には会員サービスとして 1 冊無料で進呈している。非会員の方も新規入会して頂くことで同サービスを提供。

書店でも販売開始しており、在庫が足りなくなってきた状況。

5) AOHUPO 活動報告 : 朝長副会長より以下の報告があった。

中村 AOHUPO 会長が辞められるということで、JHUPO 理事で選挙を行い、石濱理事が AOHUPO 会員になることになった。次期会長は、Fuchu He（現・副会長）が務める。2014 年 AOHUPO は、タイで開催。2016 年の AOHUPO、HUPO 共に、台北（台湾）開催予定なので合同開催の方向で協議中。

6) Human Proteome Project について：山本会長より以下の報告があった。

色々なイニシアティブが HPP プロジェクトに関与するようになってきている。

Biology/Disease プロジェクトは、新しいイニシアティブが入ってきているので、日本からも積極的な参加を考えていきたい。

7) JHUPO 第 10 回大会報告

大会長の高橋先生より報告があった。

8) 日本プロテオーム学会賞及び奨励賞受賞者（朝長）

7月に選考委員会を行って以下のように決定した。

- 日本プロテオーム学会賞（五十音順） 3 件
  - 石濱 泰 会員（国立大学法人 京都大学大学院薬学研究科）  
受賞題目：プロテオミクスおよびリン酸化プロテオミクスに関する基盤技術の開発と応用
  - 高橋 信弘 会員（国立大学法人 東京農工大学大学院農学研究院）  
受賞題目：タンパク質複合体のプロテオミクスに関する先駆的研究
  - 成松 久 会員（産業技術総合研究所糖鎖医工学研究センター）  
受賞題目：グライコプロテオミクス研究の基盤技術開発とその応用
- 日本プロテオーム学会奨励賞（五十音順） 3 件
  - 植田 幸嗣 会員（独立行政法人 理化学研究所）  
受賞題目：グライコプロテオーム解析技術の開発と糖鎖標的腫瘍マーカーの同定
  - 木村 弥生 会員（横浜市立大学先端医科学研究センター）  
受賞題目：タンパク質の翻訳後修飾の解析
  - 曾川 一幸 会員（麻布大学生命・環境科学部食品生化学研究室）  
受賞題目：MALDI-TOF MS による MRSA(メチシリン耐性ブドウ球菌)の迅速検出法の開発
- 日本プロテオーム学会研究開発功績賞（五十音順） 2 件
  - 株式会社メディカル・プロテオスコープ（川上隆雄、具嶋 弘）  
受賞題目：質量分析を基盤とした臨床プロテオーム解析事業の確立
  - 東レ株式会社 先端融合研究所（鄭基晩、小林道元、田中祥徳、秋山英雄）  
受賞題目：血清中の超微量タンパク質の探索に関する新規手法の開発

9) KHUPO との交換講演

- 2011 年度 KHUPO 大会参加者 山田 哲司  
2012 年度 JHUPO 大会参加者 Kwang Pyo Kim (Konkuk University)  
2012 年度 KHUPO 大会参加者 朝長 毅  
2013 年度 JHUPO 大会参加者 KHUPO7 名の HUPO2013 によるサポートで対応

朝長先生より以下の報告があった。

昨年 3 月末に、ソウルにて KHUPO 開催。(28~29 日参加)。KHUPO は、JHUPO と形式が違っており、基本的に一つの会場で開催され、speaker は、全て invited speaker。350 名程の参加者で、JHUPO と比べると閑散としている印象を受けた。但し、speaker としては Bill Hancock、Mike MacCoss など世界的にも著名な教授を招いており、学会としてのレベルの高いと思われる。

10) 学術研究団体として登録申請：朝長副会長より以下の報告があった。

日本学術会議の広報協力団体登録に必要な学会誌を準備中である。電子ジャーナルという形で、総説および学会賞受賞論文のような査読の必要のないものを不定期に発行予定(原稿準備中)。定期的な学会誌を発行しなければならないという規定がある為、JHUPO として現在準備中。今年中に刊行目途をはっきりさせる予定。

#### ■ 学会通信、Proteome Letters の発行

JHUPO は、メールによる日本語版情報通信【JHUPO 通信】を発信していますが、これを【プロテオーム学会通信】として発行します。可能であれば、英語版メールジャーナル、Proteome Letters Vol.1 No.1~ を発行します。短報・速報を編集委員会で審査し、受理されたとき随時 pdf にし、メールにて配信します。A4 二段組、2 ページ程度。

(JHUPO ホームページより)

11) JHUPO Initiative について：山本会長より以下の報告があった。

昨年の理事会で承認された JHUPO Initiative の再構築について：本年度の JHUPO 大会は HUPO 大会との同時開催なので、JHUPO 大会での報告・発表はペンディング。JHUPO2014 年会では、JHUPO の関わる HUPO イニシアチブ (cHPP-X, Ch3, Glyco,...) とともに報告・発表をお願いする。

12) ホームページの改訂：石濱庶務担当理事より以下の報告があった。

会員限定サイトの設置を準備中。会員検索(名前、所属先)、会費納付状況および電子ジャーナル閲覧。

13) JHUPO サテライトシンポジウムの継続開催：山本会長より以下の報告があった。

昨年度よりスタートしたサテライトシンポジウムは、昨年度 1 回（京都）、本年度すでに 2 回開催（松山、旭川）。本学会が講師派遣費の一部を負担する。会長、常務理事会が主宰者を決めて、依頼する。講師派遣費による負担金額は、約 1 0 万円（5 万円×2 人目安）である。

14) 2012 年度主催・後援・協賛実績：石濱庶務担当理事より以下の方向があった。

【主催・共催】

- 2012.7.26-27 日本プロテオーム学会 2012 年会（日本科学未来館）
- 2013.1.18 第 1 回 JHUPO サテライトシンポジウム（京都大学薬学部教育棟）

【後援・協賛】

- 2013.1.21-22 KAST 教育講座「糖鎖科学・糖鎖工学の基礎から応用」（かながわサイエンスパーク（KSP）内講義室）
- 2012.9.5 2012 分析展 JASIS カンファレンスメタボリックプロファイリングワークショップ（幕張メッセ）
- 2012.8.23 第 1 0 回北里疾患プロテオーム研究会（北里大学相模原キャンパス）
- 2012.11.8-11 第 4 回国際シンポジウム「農学プロテオーム研究の最前線」(中国・武漢)
- 2012.8.20-21 第 6 3 回日本電気泳動学会総会（沖縄コンベンションセンター）

その他

JHUPO ホームページにて、電子ジャーナルが閲覧出来るようになるとありがたい。

⇒著作権などの問題で難しいかもしれないが、検討する。

⇒補足情報として、HUPO 会員になると ASBMB の年会費が半額、MCP が無料となっている。

## 2. 審議事項

### 1) 平成 24 年度収支決算報告

平成 24 年度 (2012 年度) 会計報告書

収入 7, 5 4 6, 8 4 7 円  
支出 1, 4 9 2, 1 4 4 円  
平成 2 5 年度へ繰越 6, 0 5 4, 7 0 3 円

\*\*\*\*\*

上記の通りで相違ないことを証明致します。

平成 2 5 年 5 月 28 日

会計監査 赤間 邦子 

会計監査 大石 正道 

【平成 2 4 年度(2012 年度) 会計報告】

収 入	7,546,847 円
《 内 訳 》	
2012 年度への繰越金	6,825,820 円
会員 年会費	708,000 円
誤入金 (2 名)	12,000 円
利息	1,027 円
支 出	1,492,144 円
《 内 訳 》	
理事会開催費	93,075 円
Web 運営維持管理費	121,275 円
JHUPO 10 周年記念事業	561,565 円
地域シンポジウム開催経費	114,834 円
業務委託経費 (2011/7/27~2013/3/31)	546,420 円
その他 (学会賞・JHUPO 関連行事等)	437,915 円
誤入金に対する返金 (2 名・手数料を除く)	11,475 円
振込手数料	10,585 円
予備費 (2013 年度への繰越金)	6,054,703 円

《平成 24 年度収支決算報告》

⇒審議の結果、承認を得た。

《詳細説明》

- ⇒ 支出「その他（学会賞・JHUPPO 関連行事等）」には、北京での AOHUPPO への参加に Young Research Award を作成し、JHUPPO で補助したため、金額が多くなっている。
- ⇒ 業務委託経費の期間を会計年度（i/o 従来は年会から年会の一年分）に合わせた為、期間調整分が微増。
- ⇒ コンベンションリンクージへの業務委託内容は？  
会員管理、学会通信の配信、理事会の議事録作成・書類等準備、会計収支の纏め（Web は、JHUPPO から他社へ委託）

2) 平成 25 年度事業案及び予算案

- ⇒ 審議の結果、承認を得た。

【2013 年度 予算（案）】

収 入	6,955,703 円
《 内 訳 》	
2012 年度繰越分	6,054,703 円
会員 年会費	900,000 円
利息	1,000 円
支 出	2,100,000 円
《 内 訳 》	
理事会開催経費	40,000 円
Web 運営維持管理費	650,000 円
2013 年度事務局業務委託経費	400,000 円
JHUPPO10 周年記念事業	500,000 円
地域シンポジウム開催経費	500,000 円
振込手数料	10,000 円
予備費（2014 年度繰越金）	4,855,703 円

3) 2014 年会及び 2015 年会

参考：JHUPPO 大会、日本プロテオーム学会年会（JHUPPO 大会）開催地及び大会長

年	開催地・大会長
2003	第1回 つば・中西洋志
2004	第2回 東京・戸田年総
2005	第3回 横浜・平野 久
2006	第4回 東京・西村俊秀
2007	第5回 東京・磯邊俊明
2008	第6回 大阪・高尾敏文
2009	第7回 東京・前田忠計
2010	第8回 千葉・山田哲司
2011	第9回 新潟・山本 格
2012	第10回 東京・高橋信弘
2013	第11回 (HUPOと合同) 横浜・平野 久
2014	第12回 つば・成松 久

⇒2014年7月17日(木), 18日(金) つば国際会議場を貸し切って開催。

例年KHUPOから招待しており、人選は基本的にKHUPOに任せる。

学会前に発生する経費に就いては、JHUPOより準備金として50万円を無利子で貸付可能。

⇒2015年会の大会長は、荒木理事に決定。

- 4) 規約の改定提案：常務理事から、一年毎に変わる前期及び次期学術大会長を外し、3役＝常務理事会とすることにより、一貫性・機動性をよくしたい。

(規約)

第12条 常務理事は、庶務担当理事、~~前期及び次期学術大会長~~が担当し、常務理事会は、会長、副会長及び常務理事とで構成される。

第10条 (役員の構成) 常務理事 ⇒ 1名

(参考) 常務理事についての記述

第11条 (役員の職務) 常務理事は、総務・事業計画・事務局管理・予算案立案・会議企画などを統括し、理事会へ諮問する

第15条2 (理事会) 理事会は理事により構成され、年に1回以上開催し、会長がこれを招集する。理事会は委任状を含め過半数により成立し、その議事については、議事録を作成しなければならない。また、本会の円滑な運営のために常務理事会を随時開催する。

第 17 条（委員会及び委員の選出・任期） 理事候補者選挙管理委員会は得票数の上位から順に常務理事会に 20 名の理事候補者を答申する。得票数が同数の場合には、年長者を答申する。常務理事会はこれを承認、公知する。

第 18 条（事務局） 本会を運営するために、事務局では以下の業務を遂行する。なお、外部に委託する場合には庶務担当理事が管理担当し、常務理事会がこれを統括する。

事務局の業務

- 会員及び入会希望者の紹介窓口
- 関連他機関との連絡調整窓口
- 本会の入/出金管理業務
- 本会の広報活動窓口
- その他、必要と認められる業務

《審議事項》

規約の改定提案：常務理事から、一年毎に変わる前期及び次期学術大会長を外し、3 役 = 常務理事会とすることにより、一貫性・機動性をよくしたい。

（平野理事） 5 名⇒ 3 名の変更理由がわからない。

殆ど、常務理事会のメールが来ていないように思える。

（石濱庶務担当理事） 昨年度の状況を鑑みての改定提案。メール返信が遅い場合があり、決定が遅くなった場合があった為、改定提案をした次第。

（谷口理事） 常務理事間で、メールやり取りがスムーズに行われていなかったように見える。常務理事会をきちんとやって頂きたい。

⇒ 提案取り下げ。今後は、メールやり取りを滞りなく行うこととし、人数的には現行維持することになった。

⇒ 「常務理事」の定義確認

3 役の理事と連動して、常務理事は変更。（4 月から翌 3 月）

規約 第 12 条にある「前期及び次期学術大会長」は、4 月 1 日時点での定義とする。

規約)

第 12 条 常務理事は、庶務担当理事、前期及び次期学術大会長が担当し、常務理事会は、会長、副会長及び常務理事とで構成される。

5) 次回 HUPO 理事及び AOHUPO 理事候補者の推薦について（山本）

- HUPO Council Members : Narimatsu, Hisashi (2012-2014)

《審議事項》

- HUPO2013 開催準備あり、JHUPO で協議する時間を失ってしまった。今後このようなことないように、改めてこの場で状況共有したい所存。
- 従来のスケジュールは、6～7月にJHUPO及び理事会開催。その際に、HUPO世界大会に向けての理事の推薦（HUPOのWeb上での選挙は9月）について協議することが出来る。但し、今回のようにHUPOとJHUPOが重なると協議時間が無くなってしまう。

⇒ 今後は、スケジュール管理をしっかり行い、JHUPO理事会で選出した方を推薦すること。

⇒ 今年度の推薦者については、今回は理事会では話し合わず個人投票とする。

⇒ 各年度1名ずつは入るようにしていきたい。

《AOHUPO理事についての補足》

（中村理事）AOHUPO理事は、現在18名。（24名まで増やせる）

原則として1国より1名だが、活発に活動している国（日本、韓国、中国、オーストラリア等）に就いては、2名/国 選出を検討。

6) 臨床プロテオミクス研究会との関わりについて（山本）

《審議事項》

- JHUPO会員を増やす為に、臨床プロテオミクス研究会に参加していらっしゃるJHUPO非会員にJHUPOへの新規入会を促したい。

（山田先生）互いにどのようなメリットがあるのか？ 数的なメリットもあまりないのでは？

⇒ 人数はそんなに多くないと思われる。

（山本会長）人数がそんなに多くないのであれば、個人ベースでの働きかけでもよいのかもしれない。

（平野先生）同じような内容であれば、統合すればよいのでは？

⇒ 研究会としての立場もあるので、互いに推薦して高めあうという方向で働きかけをしよう。

合同開催を働きかけるという方法も検討。

参考：2013年度日本プロテオーム学会役員名簿（石濱）

- **会長 山本 格** 新潟大学大学院医歯学総合研究科
- **副会長 朝長 毅** 医薬基盤研究所プロテオームリサーチプロジェクト
- **庶務担当理事 石濱 泰** 京都大学大学院薬学研究科
- **理事**
  - 荒木 令江** 熊本大学大学院生命科学研究部
  - 磯辺俊明** 首都大学東京大学院理学研究科

加藤智啓 聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科  
木下英司 広島大学大学院医歯薬学総合研究科  
小寺義男 北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター  
小林章一 株式会社島津製作所  
近藤 格 国立がんセンター研究所  
榊原陽一 宮崎大学農学部応用生物科学科  
高尾敏文 大阪大学蛋白質研究所附属プロテオミクス総合研究センター  
戸田年総 横浜市立大学先端医科学研究センター  
中村和行 山口大学大学院医学系研究科  
成松 久 産業技術総合研究所糖鎖医工学研究センター  
野村文夫 千葉大学大学院医学研究院  
服部成介 北里大学薬学部  
平野 久 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科  
山田哲司 国立がんセンター研究所  
和田芳直 大阪府立母子保健総合医療センター研究所

● 指名理事

坂口和靖 北海道大学大学院理学研究院  
高橋信弘 東京農工大学農学部  
中山敬一 九州大学生体防御医学研究所  
三ツ井敏明 新潟大学農学部  
横田博之 株式会社アステラス製薬

● 監事

赤間邦子 千葉大学普遍教育センター・大学院理学研究科  
大石正道 北里大学理学部物理学科